

6-3. 第3次安城市多文化共生プランの骨子案

理念

「ともに つくろう だれもが 安心して 暮らせる 多文化の まち 安城」

この理念にした理由

第2次プランでは、国籍や文化の違いに関わらず、安城市で暮らす全ての人が将来に希望を持って暮らせる多文化共生社会を目指して、「～だれもが安心して暮らせる「多文化のまち安城」～」を理念にした。

第3次プランでは、第9次安城市総合計画(案)で目指す都市像「ともに育み、未来をつくる しあわせ 共創都市 安城」の考えも取り入れ、日本人市民と外国人市民、市役所と市民等、全ての人が協力して多文化共生社会を目指すという意味で「ともに つくろう」を付け加えた。

3つの大きな方針

安城市の今と課題、国や愛知県の計画、その他関係する計画等、第3次プランの理念をもとに、「多様な主体による地域づくり」

「コミュニケーションの充実」「ライフステージに応じた暮らしの支援」の3つを、第3次プランの大きな方針にする。この3つにした理由は以下のとおり。

「多様な主体による地域づくり」

市役所と市民、団体等が協力して、多文化共生を進める。多文化共生の大切さを伝えたり、多文化共生に関わる人を探して育てたりすることで、全ての市民が活躍・協力して地域づくりができる安城市を目指す。

「コミュニケーションの充実」

日本語がわかる外国人を増やす、外国語で相談できるようにすることで、ことばの壁を超えてコミュニケーションがとれる安城市を目指す。

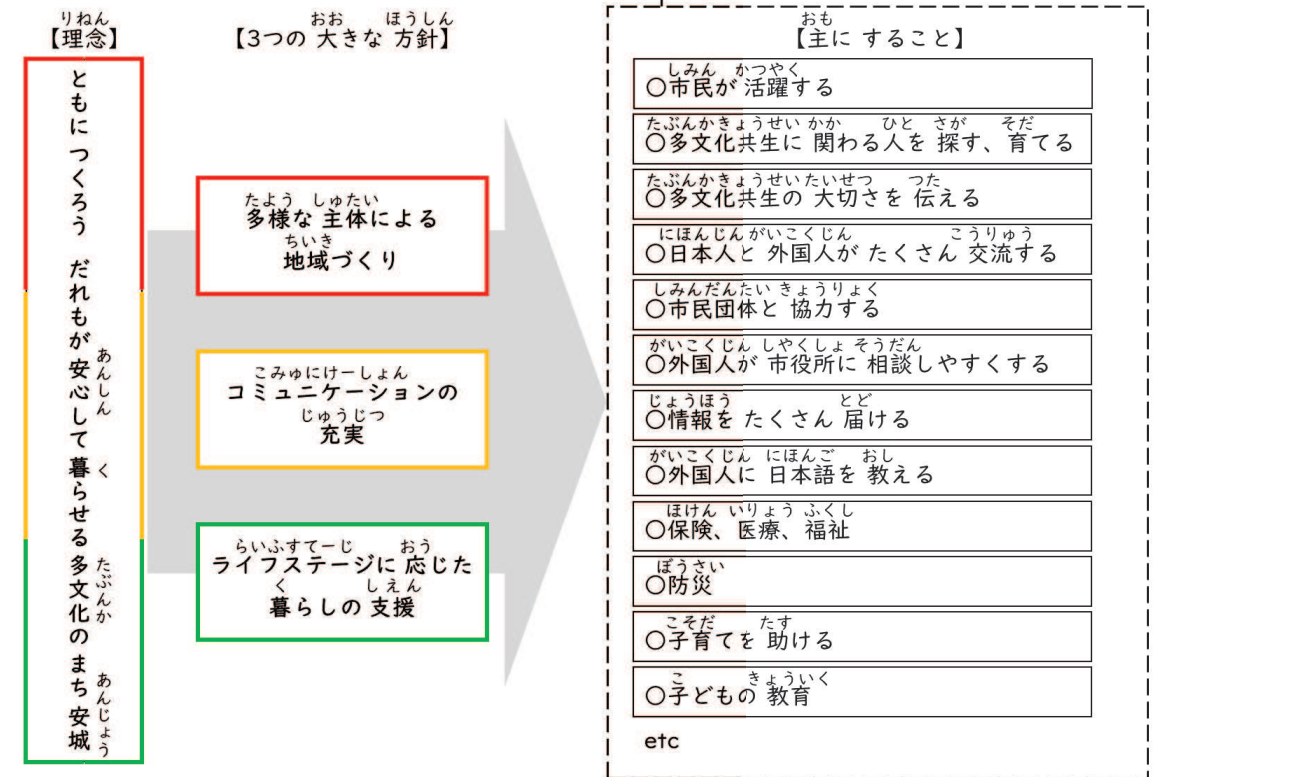
※総務省や愛知県の計画でも施策に位置付けられている。

「ライフステージに応じた暮らしの支援」

子どもが大人になるまでの間や、大人になってからも、市役所のいろいろな部署が協力し、ずっと助けられるようにすることで、安心して、いつまでも暮らしていくことができる安城市を目指す。

※出入国在留管理庁の計画でも施策に位置付けられている。

第3次プランの全体図(イメージ)



これは例です。具体的な内容は、【3つの大きな方針】をもとに、これから考えます。

【参考】第2次プランの全体図

